

【棧橋管理委員会開催日時 5月21日15時～16時】

【出席者 鈴木、佐藤敬、小林、木村】

1. 棧橋収支状況(1月から4月末)

1月1日 残高 9,528,893円
収入(4月末まで) 1,922,430円
合計 11,451,323円

支出 ①ローン返済 2,560,740円
②B 棧橋再設置 496,800円
③A 棧橋津波修理 565,272円
④C 棧橋増設 652,320円
⑤分担金 430,000円 (水面料、会計顧問料)
⑥その他 203,906円
合計 4,909,036円

4月末残高

収入合計－支出 = 6,542,287円
(11,451,323円 - 4,909,036円)

5月以降支出見込み

①ローン返済 5,121,480円
②棧橋修理代 1,000,000円
③償却資産税 442,300円
④電気水道工事 600,000円
⑤小浜Fへ返済 960,000円(B 棧橋設置費)
合計 8,123,780円

差し引き Δ 1,939,430円

このまま推移すると赤字決算に陥る可能性あり。

<対応策>

- ①小浜Fへの返済を伸ばす。
- ②台風等による棧橋修理費を極力少なくする対策を実施する。
- ③資金が不足するので平成30年度より棧橋会費を一律2万円引き上げる。約70万円の増収。理事会承認が必要。

2. A 棧橋課題対応

- ①湾口へのテトラ設置まで A-17 以降の棧橋を取り外す。
台風等による棧橋修理費を少なくするため。
撤去については館石さんへ相談する。
- ②これに伴い、「エミちゃん」に A-10 への移動を打診する。
揺れ対策は KAYA と同じように増し舳いにて対応する。
- ③SAGA も波浪の打ち込みによってダメージが大きいので
西、北にアンカーを入れる。

3. B 棧橋への係留

- ①30ft 未満の艇に限る。常時係留艇は棧橋西側に係留し艇の西側にアンカーを設置する。
アンカー設置費用は棧橋委員会が負担
- ②入会金は 15 万円(新規は入会金 20 万円)、年会費は 20 万円、但し 30 年度から 22 万円×1.08%
30 年度からは 2 万円上乗せする。

4. 外来艇の取扱い

長さ 45ft 以内、喫水 2. 2m 以下のみ受け入れる。

5. 高橋先生ボートについて

- ①東白地へ係留、係留費はヨットその他、2 艇目になるので慣例に従い
5, 000 円とする。
- ②小浜のイベントで使用可。この場合、B 棧橋に使用を可とする。
- ③その場合、イベントで使用していることが判るよう表示する。
- ④船名についても誤解を招かないようなネーミングとする。

6. その他

- ①セイルヨットの係留について
一箇所の係留場所については 1 艇の係留とすることを遵守し
周囲から批判が生じないよう留意して頂く。
- ②ホームページ掲載の棧橋入会案内が未更新なので最新の
情報に変更する。

以上